

2023 年 10 月吉日

J-PVAD レジストリ事業：

2023 年 J-PVAD レジストリ Research Proposal 公募・申請開始のお知らせ

一般社団法人補助人工心臓治療関連学会協議会
インペラ部会 事務局

実施施設の皆様におかれましては、J-PVAD レジストリ事業へのデータ入力に関し多大なるご尽力を賜り、改めまして御礼申し上げます。

J-PVAD レジストリ事業は、本邦における補助循環用ポンプカテーテルの使用状況や臨床成績に関する情報等を把握・理解し、今後の心原性ショック等の急性心不全患者の救命治療に役立てるため企画され実施されております。実施施設の皆様のご協力を得て、2017 年 10 月の初回症例より現在に至るまで世界的にも類を見ない 5,500 症例以上(2020 年 2 月~2022 年 12 月末)の Impella 使用例を全例登録している事業となり、本データの有効な活用は日常診療並びに学術的に大きな役割を果たすことと推察しております。

昨年度公募課題の進捗並びに今年度（2023 年）の公募について下記の通りご連絡申し上げます。

1. 2022 年公募課題の進捗並びに論文化について
2. 公募課題の演題発表・論文発表時の助成について
3. 2023 年度公募課題について

1. 2022 年公募課題の進捗・論文文化について：

昨年実施させて頂きました Research Proposal の公募では、大変多くの公募申請を頂きました。採択された 21 課題については、学術集会等へのご活発な演題登録等、データをご活用頂き誠にありがとうございました。これら公募課題より下記 3 課題は論文として採択・発表されております。また、6 課題は国内・国際学術集会への演題登録・採択が報告されております。申請者の先生方にはこの場を借りてお礼並びにお祝いを申し上げます。

<2022 年 J-PVAD 公募課題 論文採択状況>

# *	公募採択課題		論文掲載誌情報
3	研究タイトル	IMPELLA/ECPELLA の使用及び予後に対する性差の影響	Sex-Related Differences in Short-Term Prognosis in Patients with Acute Myocardial Infarction-Related Cardiogenic Shock Receiving Impella Support in Japan: From the J-PVAD Registry Medicina (Kaunas). 2023 Jun 27;59(7):1208.doi: 10.3390/medicina59071208. https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37512020/
	申請者名(敬称略)	中村牧子	
	所属施設名	富山大学大学院 医学薬学研究部 第二内科	
12	研究タイトル	Incidnece,predictors and Outcomes of Transaxillary or Transsubclavian versus Transfemoral Impella	Access Site-Stratified Analysis of the Incidence, Predictors, and Outcomes of Impella-Supported Patients With Cardiogenic Shock Am J Cardiol. 2023;205:198-203 https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37611410/
	申請者名	安藤 智	
	所属施設名	川崎幸病院 循環器内科	
7	研究タイトル	心原性ショック合併急性心筋梗塞における Impella の使用状況と臨床イベント関連因子の探索	Complications and Outcomes of Impella Treatment in Cardiogenic Shock Patients With and Without Acute Myocardial Infarction J Am Heart Assoc. 2023 Sep 5;12(17):e030819. doi: 10.1161/JAHA.123.030819. https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37646217/
	申請者名	齋藤 佑一	
	所属施設名	千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学	

*:公募順 受付番号 並びは 論文採択順

<2022 年 J-PVAD 公募課題 学術集会 演題登録状況>

下記課題につきましては現在 各学術集会に演題が採択されております。

#	研究タイトル	施設名	申請者名 (敬称略)	論文文化進捗状況
1	Weekend Effect in Percutaneous Ventricular Assist Device (Impella®); a nationwide cohort study in Japan 経皮的補助人工心臓（インペラ®）における週末効果；日本における全国規模のコホート研究	聖路加国際病院 循環器内科	鈴木 隆宏	AHA2023 採択
2	多枝病変急性心筋梗塞による心原性ショックにおける最適な治療法の検討	船橋市立医療センター	藤井 政彦	AHA2023/EACTS2023 採択
3	IMPELLA/ECPELLAの使用および予後に対する性差の影響	富山大学大学院 医学薬学研究部第二内科	中村 牧子	ESC2023 採択
4	ECPELLAを必要とした心原性ショック症例において、VA-ECMO挿入のタイミング（Impella前・後）による予後への影響	京都大学医学研究科 循環器内科	渡邊 真	AHA2023 採択
14	PVAD使用における出血性合併症の予測因子の探索とリスクスコア構築	神戸市立医療センター 中央市民病院 循環器内科	豊田 俊彬	AHA2023 採択
15	心原性ショック合併急性心筋梗塞患者に対するimpellaを使用した再灌流前左室unloadingの効果とonset-to-balloon時間との関連	大阪労災病院 循環器内科	岡本 直高	CVIT近畿地方会 YIAセッション採択

また、2017 年 10 月～2020 年 1 月登録症例を対象とした期間では下記の論文が発表されております。

#	タイトル	筆頭(敬称略)*	学術誌名
1	Three-year experience of catheter-based micro-axial left ventricular assist device, Impella, in Japanese patients: the first interim analysis of Japan registry for percutaneous ventricular assist device (J-PVAD)	戸田宏一 (大阪大学)	J Artif Organs. 2023 Mar;26(1):17-23 https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35467195/
2	Short-Term Outcomes of Impella Support in Japanese Patients With Cardiogenic Shock Due to Acute Myocardial Infarction - Japanese Registry for Percutaneous Ventricular Assist Device (J-PVAD)	池田祐毅 (北里大学)	Circ J. 2023 Apr 25;87(5):588-597. https://www.jstage.jst.go.jp/article/circj/87/5/87_CJ-22-0476/_pdf/-char/en

*論文発表時の所属施設名

2. 公募課題の演題発表・論文発表時の助成について

今回、J-PVAD レジストリからの Evidence の創出を促進する目的で、学術集会における演題発表、学術誌の論文出版費等を助成する仕組みを設けるべく準備をしています。詳細手順が決まりましたら該当する先生宛に詳細についてご連絡させて頂く予定です。今しばらくお待ちください。

3. 2023 年 Research Proposal 公募・申請について

本年も J-PVAD レジストリのデータをより広くご活用頂くため Research Proposal の公募を開始する運びとなりました。今回の提供対象となる症例登録期間は下記の通りです。

データ提供の対象期間：

2020 年 2 月～2022 年 12 月末までに IMPELLA が使用された症例（約 5,500 症例）

申請頂くにあたってのご注意：

今回の公募に際しては、昨年の公募課題のうち現在解析が進行中の[別添 1](#)に掲載されている執筆中・発表済 課題は公募課題から除外します。

（公募として申請された場合も重複・同一性がみなされる場合は不採択のご連絡をさせて頂く事となります）

データ使用の優先権は、公募開始のご案内日以降公募申請を事務局が受理した順に発生することと致します。公募の方法につきましては別添 2 をご覧ください。

今後この大きな症例数を基に我が国から多くのエビデンスを発信すべく多数の応募をお待ちしております。詳細については次ページをご覧ください、ご不明な点がございましたら J-PVAD レジストリ事務局にお問い合わせください。

別添 2 :

2023 年度公募について

申請期間： 2023 年 10 月 10 日~10 月 25 日（日途）

事務手続き連絡： 2023 年 11 月以降順次

申請条件：

- ・ 補助人工心臓治療関連学会協議会 インペラ部会に認定された実施施設に所属している医療関係者であること
- ・ 自施設の IMPELLA 使用数が 10 例以上あり、かつ、全ての症例登録が完了しクエリが解消されていること
- ・ 研究課題は原則 1 課題/施設とする
- ・ 既存のレジストリデータのみを用いた解析を行う場合は、2024 年度内に論文を投稿すること
- ・ データの提供・使用に際してはインペラ部会とデータの使用に関する書面による覚書等が可能であること
- ・ 論文の Authorship として J-PVAD Investigators を含むことが望ましい

公募方法

下記リンクより研究申請書をダウンロードいただき、必要事項をご入力ください。

研究申請書がダウンロードできない場合には、メールにてお送りいたしますので、J-PVAD レジストリ事務局（j-pvad@cvq.co.jp）までご連絡ください。

研究申請書に必要事項をご記入後、下記の構成にてファイルを保存し、J-PVAD レジストリ事務局に期間内に送付してください。

研究申請書(Application Form)： [リンク先](#)

研究申請書のファイル名構成：J-PVAD Registry_公募申請_施設名_申請者名_申請日

例：

インペラ病院所属の補助太郎先生が 2023 年 10 月 10 日に公募申請する場合
提出される研究申請書のファイル名は下記の通りです。

ファイル名： J-PVAD Registry_公募申請_インペラ病院_補助太郎_10102023

申請後のタイムライン：

2023 年 11 月以降、順次データの提供に伴う作業を開始いたします。

研究グループと部会間でデータの使用に関する覚書等を締結します

2023 年 11 月~2023 年 12 月頃：

覚書締結後 データの共有を開始します

研究の進捗についてのご連絡：

学会演題及び論文投稿採択時にはレジストリ事務局までご一報ください。

お問い合わせ先：

J-PVAD レジストリ事務局

(シー・バイ・クエスト株式会社内)

TEL: 03-6427-9947

EMAIL: j-pvad@cvq.co.jp